

FOR YORIMICHI LOVERS  
Dec. 2019 No.572 700yen

日本橋で、いい/日を。

スマホで見られる電子版付き

**OZ**  
magazine

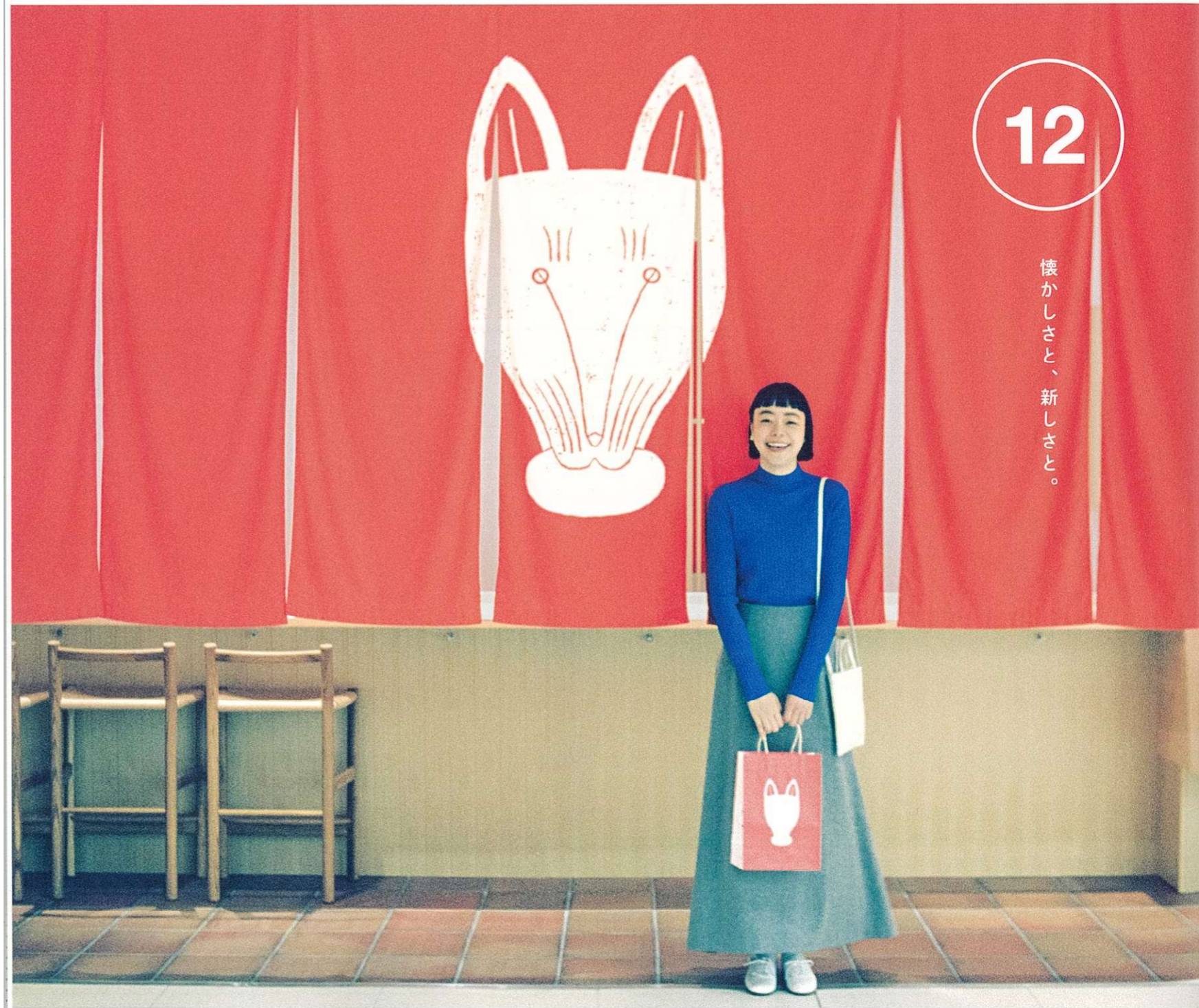


誠品生活ほか新店が続々誕生。  
今、多くの人が日本橋に  
注目しています！

日本のよりみち案内 / 丹波篠山市

こんなに  
変わりました

# 日本橋・再発見！



12

懐かしさと、新しさと。

## 兵庫県丹波篠山市で楽しむ城下町の町家暮らし

山々に囲まれ、自然に恵まれた、栗、黒豆の名産地・丹波篠山市。豊かな実りの恩恵を受けて、暮らしが紡がれてきた地には歴史を感じさせる風景もそこかしこに。城下町の誇りを守り継いでいく地域の人々の思いにあふれている



毎日を慌ただしく過ごしていると、自分のことで精いっぱい。暮らす町への意識も愛情も薄れてしまいがち。でも、ときには地域愛に満ちた温かさに触れて、心のゆとりを取り戻してみたい。

丹波篠山市は、京都と山陰地方を結ぶ交通の要だったことから、京文化の影響を受けて発展。江戸時代には城下町として栄えた。城跡の周辺を歩くと、今も城下町の面影を残す景観が。京町家が並ぶ昔ながらの風景が広がり、見慣れた高いビルもコンビニも目に入らない。伝統や景観を守りたいという人々の地域愛が町全体にあふれているようで、なんともいえない心地よさに包まれる。

「京都と大阪の中心地から1時間ほどの近さなのに、近代化の波や都会に感化されずに、町並みを守ってきた。すごいことですよね」と話すのは、東京から移住した細谷享弘さん。江戸時代後期の京町家を改装して、セレクトショップ&カフェ「BREATHEROY」を営んでいる。

「30年近くあき家だったので、初めは荒れ果てた、ひどい状態でした。それでも気に入ってしまっただけで、昔の趣を大切にしつつ約1年かけて改修しました」。天井の一部を取り除いて外光を取り入れた店内は、土間にカフェカウンターと商品をディスプレイ。その向こうには板の間のカフェ

／ホテル・レストラン／ 篠山城下町ホテル NIPPONIA



フロント、レストラン、客室を備えたONAE棟を中核施設に、歴史的建造物を活用した9つの宿泊棟を町中に展開。趣のある古民家に暮らす気分で滞在できる。

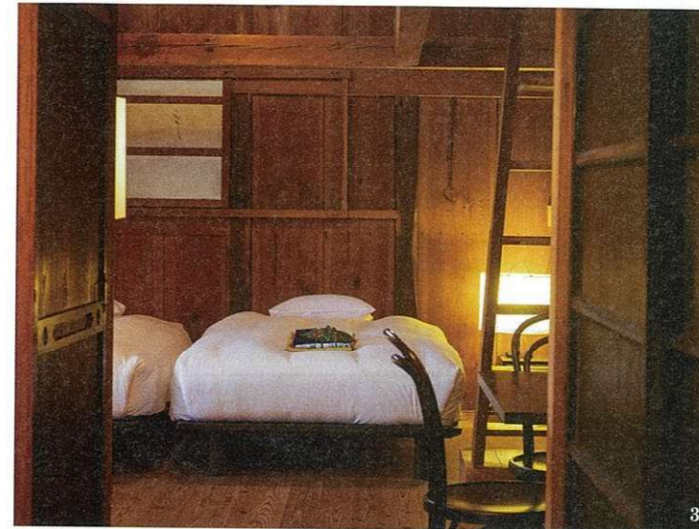
ササヤマジョウカマチホテル ニッポニア ☎0120-210-289 (VMG総合窓口11:00~20:00) 丹波篠山市西町25 ONAE棟  
◎2名1室1泊2食1名26400円(サ別)〜 客室数9棟21室 丹波篠山駅より篠山営業所行きバスで約15分、篠山本町下車徒歩2分

／セレクトショップ・カフェ／ BREATH&ROY



県内外から暮らしの道具、雑貨をセレクト。丹波焼の器、地域特産の丹波栗や丹波黒豆の加工品など、地元の作り手たちによる商品も揃う。店内にはカフェスペースも。

プレス アンド ロイ ☎079-506-9195 丹波篠山市西町16-1 ☎9:00~18:00 火、ほか月または水休あり 丹波篠山駅より篠山営業所行きバスで約15分、篠山本町下車徒歩2分



1・2・4.30年以上暮らしを離れた東京を離れて「BREATH&ROY」を開いた細谷享弘さん。風情ある建物は昭和40年代後半まで割烹料理店だったそう。テイクアウトもできるカフェメニューはオーガニック紅茶550円やマフィン各308円など。春先までは地元の特産物・丹波栗の渋皮煮も 3.明治初期に銀行の頭取を務めた名士の邸宅を利用した「篠山城下町ホテル NIPPONIA」のONAE棟。蔵は、木の壁や柱、重厚な扉もそのままに、ロフト仕様の客室に改装している 5.篠山城跡の北西に位置し、約400年前に形成された河原町妻入商家群。通りには、ショップや飲食店などが並び、おさんぽが楽しい

エスペース、さらにその奥には小さな中庭が。京町家の粋な風情とともに、温もりも伝わってくる。  
丹波篠山では、暮らすような滞在もかなう。町全体をホテルに見立てた「篠山城下町ホテル NIPPONIA」は町に点在する歴史的建造物を宿泊棟に改装。貴重な建物を泊まることも特別だが、フロントでチェックインしてから、町中を歩いて宿泊棟へ移動するのも楽しい体験に。「せっかくなお泊まりいただくと、町のよさも伝えたくて、町を歩いたら、歩いてみると子供たちが元気に挨拶してくれて、なにげなく話しかけてきたおばあちゃんや話はずむことも。地元の人には当たり前のようにとりかもしませんが、旅人にはきつと新鮮な丹波篠山の魅力です」と、ホテルチーフの沖田美咲さん。町にあふれる懐かしさに浸りつつ日常にも触れ、心ゆるむ旅をしよう。